

## 2 被害体験

### ① 日常生活での被害体験

日常生活での被害体験が多いのは米国である。「仲間外れにされた」「目の前で悪口を言われたり、からかわれた」「脅迫を受けた」「お金や物をむりやり奪われた」の割合（「何度もある」「すこしある」と回答した者の割合、以下同様）がいずれも日中韓に比べて突出して高い。中国は、「盗撮された」の割合が4割を超え、際立って高い。

日本が最も多いのは「目の前で悪口を言われたり、からかわれた」であるが、他の3か国と比べて最も少ない。

日常生活での被害体験について、「目の前で悪口を言われたり、からかわれた」などの7項目を挙げ、「何度もある」「すこしある」「ほとんどない」の3段階で聞いた。図2-1は「何度もある」「すこしある」と回答した者の割合をまとめたものである。

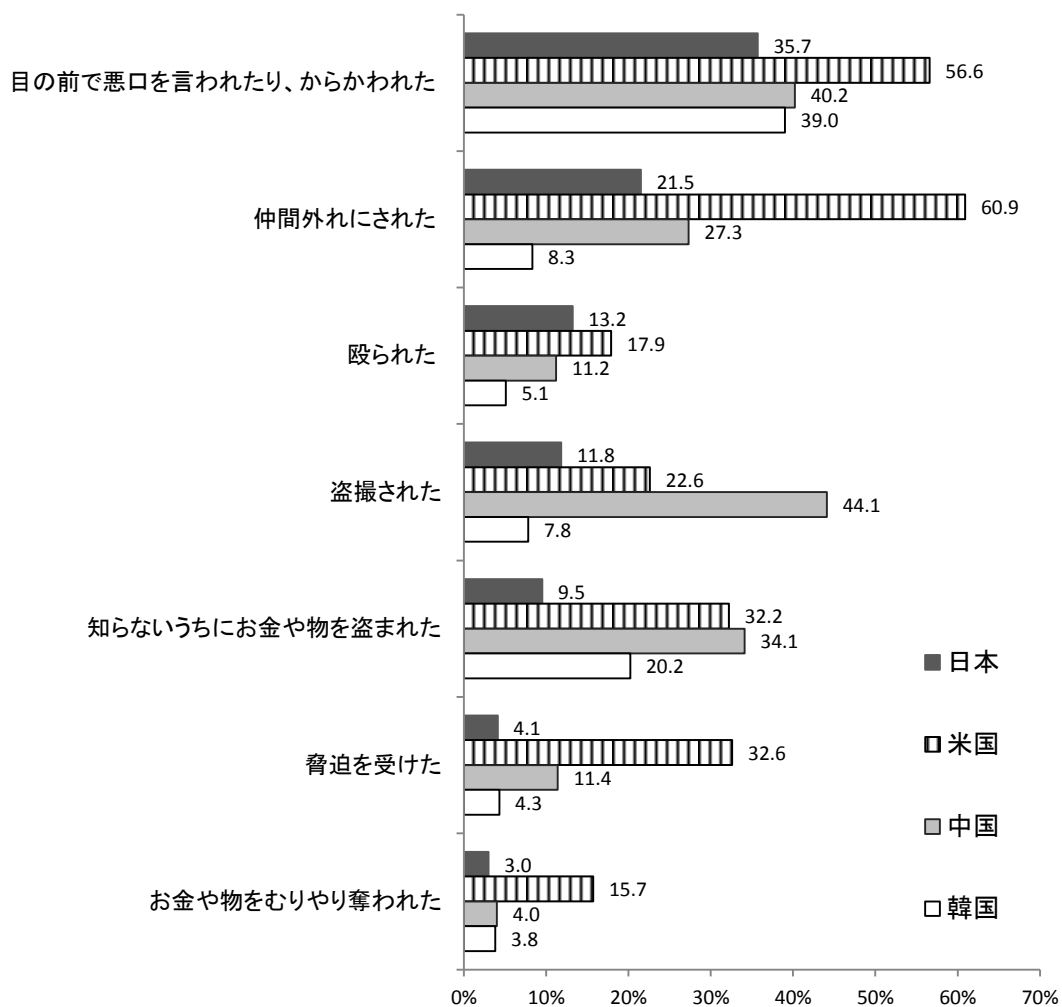


図 2-1 被害体験（「何度もある」「すこしある」と回答した者の割合）

図示のとおり、米国が突出して高いのは、「仲間外れにされた」(60.9%)、「目の前で悪口を言われたり、からかわれた」(56.6%)、「脅迫を受けた」(32.6%)、「お金や物をむりやり奪われた」(15.7%)である。中国は、「盗撮された」が44.1%と、突出して高い。また、「知らないうちにお金や物を盗まれた」の割合も34.1%と4か国中最も高い。

一方、日本は、「知らないうちにお金や物を盗まれた」が9.5%となっており、他の3か国を大きく下回った。また、「目の前で悪口を言われたり、からかわれた」「脅迫を受けた」「お金や物をむりやり奪われた」の割合も4か国中最も低い。韓国は、「仲間外れにされた」「殴られた」「盗撮された」の割合が4か国中最も低い。

## ② インターネットでの被害体験

「インターネットでIDやパスワードが盗まれた」「インターネットで架空の請求を受けた」など、インターネット上での被害体験が多かったのは、中国である。日本は、「インターネットで架空の請求を受けた」が米韓より多いが、それ以外の被害体験は少ない。

インターネット利用での被害体験について、「インターネットで架空の請求を受けた」などの9項目を挙げ、「何度もある」「すこしある」「ほとんどない」の3段階で聞いた。図2-2は「何度もある」「すこしある」と回答した者の割合を図示したものである。

中国は、「インターネットでIDやパスワードが盗まれた」が46.2%、「インターネットで架空の請求を受けた」が41.3%で突出して高い。「インターネットショッピングで被害に遭った」も、16.6%で4か国中最も高い。米国が突出して高いのは、「インターネットで脅迫された」(21.3%)、「インターネットで集団的ないじめを受けた」(16.0%)、「インターネットで性的な嫌がらせを受けた」(14.1%)である。韓国は、「インターネットで悪口を言われた」の割合が33.8%で4か国中最も高い。「インターネットで架空の請求を受けた」「インターネットで自分の写真や映像が悪用された」の割合がいずれも5%未満で4か国中最も低い。

日本は、「インターネットで架空の請求を受けた」の割合が11.8%で米韓を上回った。一方、「インターネットで悪口を言われた」「インターネットでIDやパスワードが盗まれた」「インターネットで自分の個人情報が悪用された」「インターネットで脅迫された」「インターネットで性的な嫌がらせを受けた」「インターネットで集団的ないじめを受けた」「インターネットショッピングで被害に遭った」の割合がいずれも4か国中最も低い。

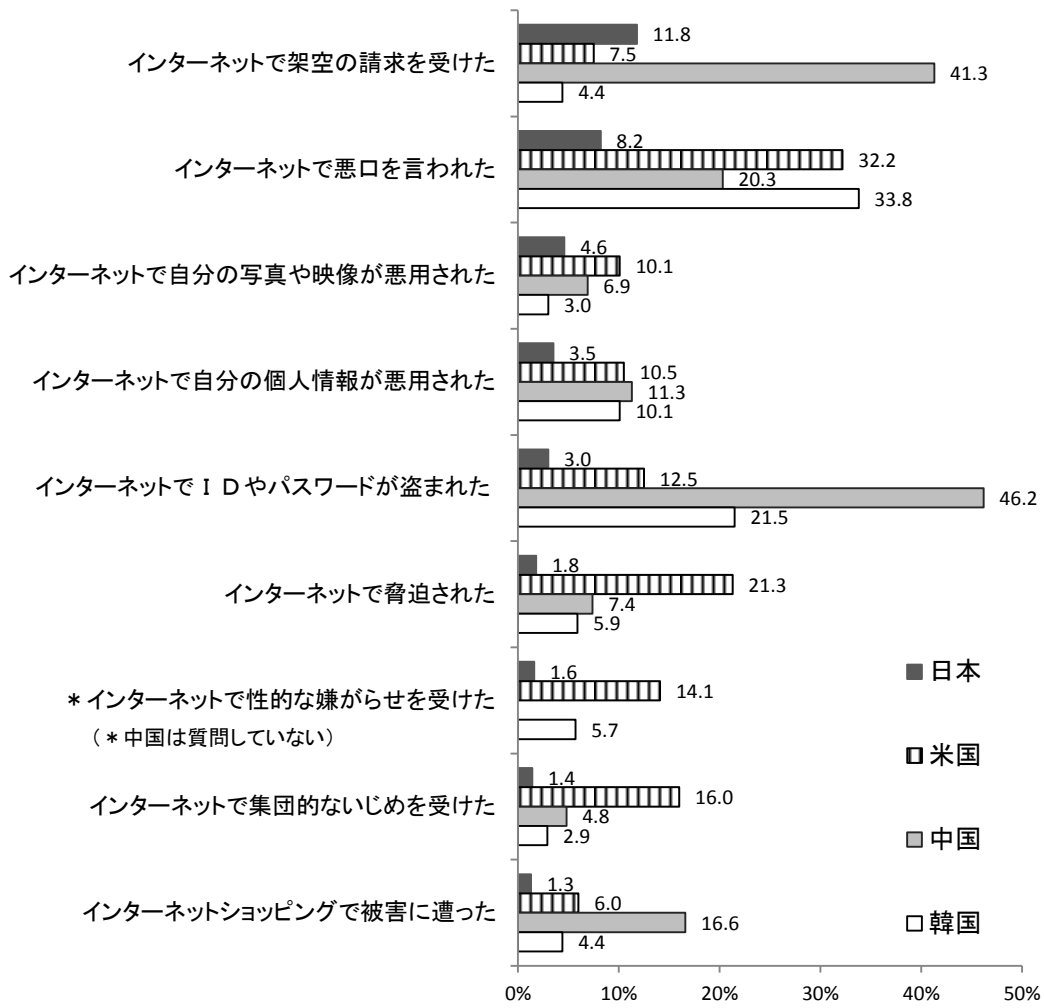


図 2-2 インターネットの利用で受けた被害(「何度もある」「すこしある」と回答した者の割合)